

第5回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成28年10月17日（月） 午後3時00分～5時15分

会場：青谷町総合支所 第2・3会議室

【出席委員】

高橋克己、鱸雅子、長谷川和郎、濱江康雄、鈴木光頼、瀧洋子、津本和美、北村佳子、松岡礼子、長谷川英二

以上10名（敬称略）

【欠席委員】

奥谷吉男、上田洋子

以上2名（敬称略）

掲載

【事務局】

山本支所長、武田副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、秋田市民福祉課長、山本産業建設課長、中島水道局青谷営業所長、長田地域振興課課長補佐、河原鳥取市水道局次長

【日 程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - 1) 簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う水道料金及び維持管理体制について（鳥取市水道局）
 - 2) 防災行政無線施設のデジタル化に伴う今後の予定について
 - 3) 青谷高等学校のあり方を考える協議会の経過及び報告について
 - 4) 委員提案について
- 4 その他
- 5 閉 会

◎議事概要◎

簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う水道料金及び維持管理体制について

【委員 1】 経営基盤の強化、住民サービスの向上が統合の大きな目的だと考えてよいか。

【事務局】 そのとおりです。

【委員 2】 何も変更がないのに上水道に統合となると、住民の方に違和感はないのだろうか。説明会が必要ではないのか。

【事務局】 地元管理の簡易水道については説明会を開催いたしますが、青谷地域には地元管理がないため説明会の予定はありません。何か必要があれば説明させていただきます。また、この件につきましては、今月末に回覧文書を配布する予定です。

【委員 3】 支払方法は変わるのか。

【事務局】 支払方法に変更はありません。新たにコンビニでの支払いが可能となります。(現在は上水道のみコンビニ支払可能)

【委員 4】 城山配水池隣接地に建設する浄水施設整備の内容のうち、緊急遮断弁とは何か。

【事務局】 高い位置に建設するため、地震時の水の流出を止める装置です。異常を感知すれば作動するようになっています。

【委員 1】 城山配水池の対象地域はどこか。

【事務局】 小畑、河原、山根以外の上水道区域をまかっています。

防災行政無線施設のデジタル化に伴う今後の予定について

【委員 1】 先日、青谷地区区長会を開催したが、不安感があるようだ。アナログ防災無線の撤去について、空き家の場合は遠いところに住んでいる方に区長が連絡するのか。また、独居の高齢者は自分で撤去できないと思うが、どうするのか。

【事務局】 空き家、独居の高齢者等の場合については検討させていただきます。

【委員 2】 11月16日からは屋外スピーカーによるサイレンとチャイムのみなのか。

【事務局】 緊急災害情報などは音声で放送されます。

青谷高等学校のあり方を考える協議会の経過及び報告について

【委員 1】 岩美高校や隠岐島前高校のコーディネーターは、この場所が好きだから来たようだ。青谷地域も魅力発信が必要である。

【委員 2】 青谷地域のボランティアネットワークと青谷町観光協会で、青谷地域ガイドマップを作成予定である。青谷高校生の意見などを反映させたマップが出来ればと考えている。

【事務局】 内容を教えてください。高校に話をしてみたいと思います。

【委員 3】 鹿野街道まつり（10/16）に行ってみたが、城北高校や醇風小学校の生徒がボランティアなどで参画していた。賑わいがあったし、若返った感じがした。青谷地域についても、高校コーディネーターの外部からの目線でイベントについても提案してもらい、連携して盛り上げてほしい。

【委員 4】 高校の入学者増加対策が必要であるが、年内が正念場である。来年度どうするのか、高校とよく話し合い、今やるべきことを明確にし、即効性のある対策が必要である。また、地域のボランティアに参加したというようなことだけでなく、総合学習的な授業において、生徒自らが将来を見据えた姿や行動を見せてほしい。

【委員 5】 米子南高校では、生徒がしいたけを栽培、収穫し、しいたけ味噌を販売している。地域資源を活かしたこのような動きも大事ではないか。

現在、青谷高校は鳥取県の卓球の強化高校になっていない。海外、県外から卓球選手を呼ぶくらいの特効薬が必要でないか。

【委員 6】 青谷高校に行きたいと思えるよう、先生の努力が必要だと思う。高校説明会でも私立高校はイメージをアップさせている。また、夏休みに体験的な授業を実施するなど、魅力を出してほしい。

【委員 7】 SNS発信を、大人ではなく生徒にさせてはどうか。高校の行事や例えば夏泊の朝市で魚を捌く様子を発信するなど、魅力を発信できないだろうか。注目されると思う。

【事務局】 行政、高校それぞれ、出来ることを検討していきたいと考えています。

【委員 1】 地域振興会議や青谷高等学校のあり方を考える協議会で、岩美高校のコーディネーターのお話を聞かせていただくことはどうだろうかと考えている。事務局と調整してみたいと思う。

委員提案について

【提案委員】先日、広島県熊野町で開催された和紙のイベント「第19回文房四宝まつり」に参加した。書道に必要なもの（筆・墨・硯・紙）の産地が集まる祭りである。2年に1回開催され、2年後は鳥取市が会場となる。熊野町では小学校1年生（通常は3年生）から書道の授業がある。筆の産地ならではの取り組みである。今年になってから、ようこそ書道コンクールや因州和紙書初め大会が中止され、組合員の力不足を感じているところであるが、このイベントに参加し、「書道っていいな」と改めて思った。鳥取も紙の産地として、書道教育を特別な策をもって動き出してほしいと思っている。

【委員1】青谷高校と因州和紙を結び付け、青谷高校に入学すると字が上手くなる、書道を習うことができる、など地域の特性を活かしてはどうか。

【委員2】鳥取市も特化した取り組みが必要である。教育する先生が少ないかもしれないが、やり方だと思う。

【委員3】学校で授業に取り入れることを検討してほしい。

【委員4】熊野町のビデオを見て思ったが、学校だけではなく地域での取り組みも大事である。

その他

【委員1】かまぼこ板を使った卓球大会を実施している町があり、全国からたくさんの方が集まっている。高いレベルの卓球大会ではなく、老若男女が楽しめるような大会もよい。

【委員2】新しいスポーツに、卓球台を使用した「障がいのある方の卓球バレー」がある。これからは、皆で一緒に楽しむ環境づくりが大切である。